科目名 Subject	人体の美と科学Ⅱ Beauty & Science of Human BodyⅡ			教員名	柏戸奈苗・大西典子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	人体の構造（解剖学）と機能（生理学）を総合的に学ぶ。生物としての人間のからだは、環境に適応して変化してきた構造と機能がある一方で、集団での生き方を選んだ時から変化している構造や機能もある。 この身体各部の構造と機能を理解することで、人に対する美容を提供する上での知識を総合的にとらえ、美容サービスを総合的な視点でとらえることができることを目的とする。					
授業方法	授業内容等により対面授業とオンライン授業を使い分けるハイブリット方式 (対面授業での実施を主とし、感染状況により密集を回避するため対面授業とオンライン授業を併用する可能性やオンライン授業に全てを切り替える場合もある)					
授業の目標	・人体の主な器官の名称と構造が説明できる。 ・系統別に主な器官の働きを説明できる。 ・総合的に体の各部のしくみと役割をとらえ、美容の施術・お客様へのアドバイスに応用できる。					
時間外学習（予習・復習）	Textをみて予習し（30分）、各時間の小テスや課題を通して復習（30分）をおこなう。					
教科書・教材	教科書	日本理容美容教育センター「保健」2021年、新エステティック学理論編Ⅰ2010年				
	教材	なし				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	運動・からだ図解、ぜんぶわかる人体解剖図など				
評価方法	小テストおよび課題など（５０％）、定期試験（５０％）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
履修上の注意	自分自身のからだのしくみや働きに関心を持ち、疑問や気づきを探求する姿勢をもつ。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 身体各部の名称を学ぶ。	主な身体各部の名称が述べられる。	身体各部の名称について予習（60）
第２回	骨格系：骨のしくみと役割を学ぶ。	骨のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第３回	筋系：筋肉のしくみと役割を学ぶ。	筋肉のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第４回	感覚器系①：皮膚のしくみと役割を学ぶ。	皮膚のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第５回	感覚器系②：目・鼻・耳などのしくみと役割を学ぶ。	目・鼻・耳などのしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第６回	脳・神経系：中枢神経と末梢神経のしくみと役割を学ぶ。	中枢神経と末梢神経のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第７回	内分泌系：内分泌腺とホルモンについて学ぶ。	内分泌腺とホルモンとは何かが述べられる。	復習課題に取り組む。（60）
第８回	血液・循環器系①：血液の種類と役割について学ぶ。	血液の種類と役割について説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第９回	血液・循環器系②：心臓のしくみと役割を学ぶ。	心臓のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１０回	血液・循環器系③：血管とリンパ管のしくみと役割を学ぶ	血管とリンパ管のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１１回	呼吸器系①：外呼吸のしくみと役割を学ぶ。	外呼吸のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１２回	呼吸器系②：内呼吸のしくみと役割を学ぶ。	内呼吸のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１３回	消化器系①：食べ物が消化・吸収されるまでの流れを学ぶ。	食べ物が消化・吸収されるまでの流れを説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１４回	消化器系②：胃や腸のしくみと役割を学ぶ	胃や腸のしくみと役割を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）
第１５回	からだのしくみや役割と美容の関係のまとめ	からだのしくみや役割と美容の関係を説明できる。	復習課題に取り組む。（60）